

第 7 1 回 札 幌 支 部 高 等 学 校 剣 道 選 手 権 大 会
兼 第 7 1 回 北 海 道 高 等 学 校 剣 道 選 手 権 大 会 札 幌 支 部 予 選 会
開 催 要 項

主 催 北海道高等学校体育連盟札幌支部
後 援 札幌剣道連盟 札幌・石狩学校剣道連盟
当 番 校 札幌日本大学高等学校 〒061-1103 北広島市虹ヶ丘5丁目7-1
TEL 011-375-2611 FAX 011-375-3305

会 場 札幌日本大学高等学校 高校体育館

1 期 日

令和7年5月28日(水) 開会式 9時00分 競技開始 9時30分

5月29日(木) 競技開始 8時50分

5月30日(金) 競技開始 8時50分

2 競技規則

全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則及び同細則」・「剣道試合・審判・運営要領」並びに高体連札幌支部剣道専門部申し合わせ事項により競技の進行にあたる。

3 参加資格

(1) 年齢は、平成18年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(2) 転校生においては、大会当日までに転校後6ヶ月以上経過している者であることとする。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。

(3) 全日制、定時制、通信制の混合チームは認めない。

(4) 団体試合のチーム編成は次の通りとする。

ア 男女とも監督1名・選手5名・補欠2名、マネージャー1名、合計9名とする。

イ 選手3名以上をもって参加を認める。

ウ 3名の場合のオーダーは「中堅・副将・大将」、4名の場合のオーダーは「次鋒・中堅・副将・大将」とする。

エ 5名及び4名のチームが4名及び3名のチームと対戦する場合は、登録選手の中で不戦勝ちの選手を試合前に決定できる。

ただし、人数の多いチームは、オーダー順を変更してはならない(詳細はP3を参照)。

オ 不戦勝ちの選手は、不戦勝ちの宣告を受ける。

(5) 個人試合の出場について、男女とも1校につき監督1名、選手5名以内とする。

(6) 選手は学校長の責任において参加させる。特に健康上支障のある者は出場させない。

(7) 主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意志のある者とする。

4 試合方法

(1) 団体試合は、春季大会の上位8チームをシードし、男女とも3~4校の予選リーグを行い、その後トーナメントにより順位を決定する。監督・主将会議で行われる団体戦予選リーグの抽選順はメールの受信日時順とする。ただし、参加校数によって試合方法を変更することがあり得る。その際は、監督会議で周知する。

(2) 団体試合は勝者法で行う。試合は男女とも4分3本勝負とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。予選リーグにおいては、代表者戦は行わず、引き分けとする。予選リーグにおける順位は、次の順で決定する。

① チームの勝ち点による。(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)

② 勝者数による。

③ 取得本数による。

上記の①から③までで、予選リーグの順位が決定しない場合は、代表者戦によるリーグ順位決定戦を行う。3校以上による代表者戦の対戦順は、予選リーグ時の対戦順とする。ただし、決勝トーナメント進出校が決定した後の試合は行わないものとする。代表選手は、当該試合に出場した先鋒から大将までの5人の選手であり、なおかつ、その後、補欠と交代していない選手の中から選出する。代表選手は、選手の安全面に配慮し、代表者戦ごとに変更することを可とする。2校による代表者戦は4分1本勝負、3校以上による場合は4分3本勝負とし、勝敗が決しない場合は、延長を行う。延長戦の試合時間は、

4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返し、勝敗の決するまで行う。礼法については代表者戦1巡目のみ団体戦の5人が整列して行う。2巡目に入った場合は代表選手のみ礼とする。

決勝トーナメントにおいては、勝者数も取得本数も同じ場合は、その都度代表者戦を行い、勝敗を決定する。代表者戦は4分1本勝負とし、勝敗の決しない場合は延長を行う。延長戦の試合時間は、4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返し、勝敗の決するまで行う。

- (3) 個人戦は、男女とも5ブロックに分け、予選トーナメント戦を行う。その際、前年度新人戦男女個人戦の上位8名をシードする。シード選手が同じブロックに入っている場合は、シード順位の上位者を優先し、調整を図る（詳細は、監督主将会議で確認する）。また、4名以下の学校についてはブロックを適宜移動させることもある。その後、他の選手のフリー抽選とする。各ブロック予選トーナメントにより第1～第4位の上位4名を選ぶ。各ブロックの1位5名により1位～5位を決定するトーナメント戦、各ブロックの2位5名により6位～10位を決定するトーナメント戦を行い、順位を決定する。各トーナメントにおいてフリー抽選とする。ただし、1～5位決定トーナメントに本大会のシード選手が進出した場合は、まずその選手をシードし（本大会のシード順に従い、1～5位決定トーナメントのなかの第1シードの位置から順にシードしていく）、その後、他の選手のフリー抽選とする。各ブロックの3位5名は、順位決定戦を行わない。各ブロックの4位5名は、高体連全道大会出場枠により、全道大会出場決定戦を行う場合がある（詳細は、監督主将会議で確認する）。試合は、男女とも4分3本勝負とする。勝敗の決しない場合は延長を行う。延長戦の試合時間は4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返し、勝敗の決するまで行う。
- (4) 試合者はマウスシールドか面マスクのどちらかを装着すること。
- (5) その他、北海道高体連剣道専門部の指示で変更する場合がある。

5 全道大会出場数

団体 男子8チーム、女子8チーム

個人 男子18名、女子20名

※団体戦において、5名揃っていない場合でも全道大会・全国大会に出場することができる。

6 組み合わせ

- (1) 団体戦は、春季大会の結果に基づき、男女ともに8校をシードする。個人戦は前年度新人戦の結果に基づき、男女とも8名をシードする。
- (2) 組み合わせ抽選会は、令和7年5月21日（水）13時30分より監督・主将会議（下記）にておこなう。

7 参加申し込み

- (1) 申し込みは、高体連札幌支部剣道専門部HP（<https://sapporo-kendo.net/koutairen/>）から申込書式をダウンロードし、以下の①・②・③を令和7年5月13日（火）までに下記メールアドレスまで送信すること。当番校から申し込みを受け付けた旨のメールを返信します。申し込んだ後、返信メールが来ない場合はお手数ですが、当番校まで連絡して、確認して下さい。

①「申し込み書ファイル(Excel データ)」

②「申し込み書（PDF） ※校長印が押印してあるもの」

③「剣道人口調査書」・「部活動指導者調査集計用紙」

※今年度から、申し込み書原本・個人カードの「郵送や当日の提出」は必要ありません。送られてきたPDFを原本としますので、「顧問のみなさんへ」のページの注意書きをよく読んで間違いのないように入力・作成して下さい。

- (2) 送信先：manabu.aida@sapporonichidai.ed.jp（札幌日本大学高等学校 相田 学）

連絡先：TEL 011-375-2611

- (3) 参加料 参加料は、1名500円で監督・主将会議に持参すること。

8 参加上の注意

- (1) 参加選手は、名札をつける。同一学校内に同じ姓の選手が複数いる場合（同性で）は、該当選手全て、名札に名の一文字を記載すること。（チョーク等の記載ではなく、布等を縫い付けること。）
- (2) 竹刀の長さは117cm以下、先革の長さは5cm以上、剣先の太さは男子26mm・女子25mm以上とする。ちくとう部直径（竹刀先端部より8cmのちくとう対角最小直径）は男子21mm・女子20mm

以上とする。また、竹刀は先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打に向かって、ちくとうが太くなるものとする。

※不正竹刀については、大会終了時まで本部で預かることとする。

- (3) 竹刀の重さは男子 480g 以上、女子 420g 以上とする。
- (4) 竹刀の柄革に、校名・個人名を明記すること。(男子は黒、女子は赤マジック)
- (5) 面紐の長さは、40cm 以内にそろえること。結び目は、物見の真後ろとする。
- (6) 選手の服装は、剣道着・袴で紺(黒)または白色とする。
- (7) 監督の服装は、背広・ネクタイ、または剣道着・袴とする。選手席に入る時は、腕時計を外すこと。マネージャーが選手席に入る場合の服装は、制服又は紺(黒)色または白色の稽古着、袴とし、胴・垂れをはさずこと。選手席での動画撮影や他校の生徒が選手席に入ることは禁止する。
- (8) 紅白の目印(長さ 70cm、幅 5cm)を学校ごとに用意する。
- (9) オーダー用紙は各学校で用意し(P3 参照)、学校名入りの封筒(規格角 2 サイズ)に男女別(男子は黒字、女子は赤字)に入れ、大会当日に忘れずに持参し、各試合会場に提出すること。
- (10) 面金を黒塗りにした面など、通常の配色ではない面の使用は禁止する。
- (11) 応援は拍手のみとし、声を出しての応援は禁止する。
- (12) 申し込み後の個人戦登録選手の変更は認めない。団体戦の登録選手・オーダーを変更する場合は、5月20日(火)まで認める。その際は「7 申し込み」の(1)の手続きを再度行うこと(手続きに不備がある場合は、変更は認められない。③は再送信の必要はありません)。
5月20日(火)以降、登録選手の変更は認めない。但し、病気・怪我・転校等で変更せざるを得ない場合は、大会前日までに専門委員長(札幌東高校 鎌田大介 連絡先 011-831-6332)へ連絡し、試合当日の審判会議前までに校長印を押印した選手変更願を提出すること。その場合、専門委員会で検討し、変更を認めることもある。
- (13) 各学校は、「剣道用具確認書」を大会当日の朝に受付へ提出すること。

9 監督・主将会議

令和7年5月21日(水) 13時30分より、札幌日本大学高等学校 N RINK で開催する。

*参加料を必ず持参し、受付に提出すること。

チームオーダー用紙(例)

仮名(札幌東北高校)

20cm	札幌東北	1 先鋒 山口	2 次鋒 久保田	3 中堅 鹿内	4 副将 鎌田	5 大将 植根	←数字・ポジションを書いて下さい。
└─ 13cm ─┘							

こちらは対戦チームが4人以下の場合必ず提出して下さい ※ただし、同じ人数(4人対4人や3人対3人の場合は不要)					
出場選手届					
学 校 名	札幌東北			若年学校	<input type="checkbox"/> 男子 <input checked="" type="checkbox"/> 女子
試合会場	第1試合場		対戦チーム	札幌南西	
試合順番	5		対戦人数	3 人	
実戦後の ポジション	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
実戦前の ポジション	中堅	大将	先鋒	次鋒	副将
氏名	鹿内	植根	山口	久保田	鎌田
※プログラムで必ず確認してください。				監督署名	審判主任
				鶴丸	
1 監督は必要事項を記入し、会場の審判主任へ提出 2 審判主任は、プログラムで確認後、サインし、変更を補助員に伝える。 3 補助員はオーダー用紙の不戦勝になっている選手の部分を切り取る。 4 審判主任は、出場選手届と提示されたオーダーが一致していることを確認する。					

